

1年で2m以上伸びる木がある！！ 20年くらいで太さ50cmもの丸太になる！！

「え～。うそ～。本当・・・」

「見たあ～い。どこにあるの？」

その木の名前は、「センダン（梅檀）」（暖地に自生するセンダン科の落葉広葉樹）

「そう言えば、『梅檀は双葉より芳し』（大成する人は子供のときからすぐれている）と言うけども、その梅檀のこと??」

「ことわざの梅檀はジャクダン（インド原産の芳香のある常緑の高木。仏具などに使われる）のことなんだ。ここで言うセンダンは、『おうち』とも呼ばれ、実や樹皮は生薬の原料にもなるよ。」

早生樹「センダン」の育生、利用は、大きな可能性を秘め、 近年、急速に脚光を浴びている。

「なぜ、脚光を浴びているの？ 何が新しいの？」

	（これまで）	（今後の可能性）
植栽樹種	スギ、ヒノキなどの針葉樹が中心	センダン（広葉樹）
伐るまでに	50～80年くらい	20年くらい
用途	木造住宅等の建築用ほか	家具、内装材ほか

（これまでも広葉樹の植栽はあったが、利用するまでには100年程度以上は必要。このため、家具や内装材に必要な広葉樹の多くは輸入。）

うまくいけば耕作放棄地対策の切り札になるかも・・・!?

産官学の協働で国産早生樹センダンの育成、利用に向けた 技術開発や研究に取組中

産：（公社）日本木材加工技術協会

官：林野庁近畿中国森林管理局

学：京都府立大学

産官学共催セミナーが開催される！！

9月25日(金) 13時から 京都府大稲盛記念会館にて

タイトル：「林業新時代へー早生樹林業と国産広葉樹材への期待ー」

日本木材加工技術協会長、林野庁次長、京都府立大副学長が講演！！

聴講申し込みはHP（URL：<http://wtak.jp/>）から

取材大歓迎！！

参考

平成27年4月撮影



平成27年7月撮影

3ヶ月で矢印分(約2m)の成長をみせています



平成26年5月に植栽したセンダン(大阪市内)の写真です。

産官学共催セミナー 林業新時代へ - 早生樹林業と国産広葉樹材への期待

熊本県で開発されたセンダン育林技術は非常に大きな可能性を秘めている。短伐期施業は木材生産の効率化のみならず、木材加工業や木質製品製造企業のニーズに合わせた原木生産を可能にする。本セミナーでは、国内での早生樹林業の可能性に注目する。

主催：（公社）日本木材加工技術協会関西支部早生植林材研究会、近畿中国森林管理局、京都府立大学森林科学科
共催：（公社）日本木材加工技術協会九州支部
協賛：（一社）京都府木材組合連合会、（一社）大阪府木材連合会、兵庫県木材業協同組合連合会、和歌山県木材協同組合連合会、奈良県木材協同組合連合会、滋賀県木材協会
後援：林野庁、（一社）日本木材学会、（一社）日本森林学会、京都府森林組合連合会、大阪府森林組合、兵庫県森林組合連合会
日程：平成27年9月25日（金）13:00～
会場：京都府立大学稲盛記念会館
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5 TEL:075-703-4925
地下鉄烏丸線「北山」下車 1番出口から南へ徒歩7分

定員：200名

参加費：無料

情報交換会：稲盛記念会館1F（参加費5000円）

申込方法：関西支部ホームページから申し込み下さい（URL <http://wtak.jp/>）。

情報交換（懇親）会に参加希望の方は、参加費を以下へお振り込み下さい。

[振込先] 三菱東京UFJ銀行 玉出支店 普通 0117266

（公社）日本木材加工技術協会関西支部

問い合わせ：（公社）日本木材加工技術協会関西支部事務局

（越井木材工業(株)内） TEL 06-6685-3180 FAX 06-6685-5537

内容：

13:00 開会の挨拶 近畿中国森林管理局 局長 青木庸三氏

13:15 日本での早生樹林業の挑戦 林野庁 次長 沖 修司氏

14:00 国産広葉早生樹への期待～環境負荷評価に向けて～

日本木材加工技術協会 会長 服部順昭氏

14:45 休憩

15:00 森林経営における時間との戦い～時は金なり 京都府立大学 副学長 田中和博氏

15:45 日本における広葉樹材の利用状況 森林総合研究所 青井秀樹氏

16:15 国産早生樹センダン材利用の可能性

早生植林材研究会 村田功二氏（京都大学）、宮藤久士氏（京都府立大）

【別室】センダン材を利用した試作品の展示、京都府立大のセンダン研究紹介、平林会の活動紹介、他

18:00 情報交換会